

2026
【学生限定】
アジア一流ホテル
短期インターンシップ

今後さらなる成長が期待されるアジアの観光業界で
観光・ホスピタリティーの経験を積み、
将来グローバルに活躍されたい方に最適なプログラム



株式会社キャリアエクスチェンジ

〒100-6611 東京都千代田区丸の内1-9-2 グラントウキョウサウスタワー11階
Tel:03-6278-8750 Fax: 03-6264-8758 info@career-ex.com



アジア短期ホテルインターンプログラム

本プログラムは、語学力やコミュニケーション能力、多文化適応能力、ホスピタリティスキル、問題解決力、自信など、グローバル人材に求められる能力を総合的に育成します。参加者は無償の滞在先と勤務日の食事提供がほとんどのため、費用を抑えて海外経験を積める点も魅力です。ポジションはフード&ビバレッジ、フロント、調理、ハウスキーピングなど多様。インターンの希望やスキルに応じて配属され、タイ、香港、モルディブなどの一流ホテルで勤務できます。参加期間は4から8週間まで選択可能で、夏休みや春休み期間の参加等、学校の休暇を有効活用ができるプログラムです。



プログラム概要

期間	4~8週間
エリア	タイ・香港・モルディブ
シフト	週40~48時間・夜勤あり
報酬	無給
待遇	滞在先無償提供・勤務日3食無償提供・ビザ費用会社負担・政府指定従業員保険提供 *一部例外あり（最終ページ参照）
ビザ	労働者ビザ

こんな方におすすめ

1. 英語を使って働く経験がしたい
2. 就職・転職活動で自分をアピールする武器を身に付けたい
3. 将来グローバルに活躍したい
4. 学校休暇期間を活用したい
5. ホテル・航空業界に進みたい
6. アジアの文化や言語に興味がある
7. 低予算で渡航したい

タイが一押し

理由：タイはアジア随一の観光立国。ゆえにホスピタリティの水準が高く、世界各地からゲストが訪れる国際的な環境で経験を積める！

プログラム参加条件

年齢	18歳以上35歳以下であること
英語力	日常会話レベル以上の英語力があること
学歴	専門学校、短大、大学、大学院のいずれかに在籍中であること ※在学中の学校から推薦書の提出が必須
職歴	不問 ※ホスピタリティ関連の経験がある方が派遣先が見つかりやすくなります
その他	<ul style="list-style-type: none">■ ホスピタリティ精神がある方■ 心身ともに健康な方（派遣先によって健康診断受診が必要）■ 慣れない環境で直ぐに適応できる方■ 適応能力があること■ 変則的なシフトに適応できること

求人例

一流ホテルの求人を豊富に紹介しております。一例にはなりますが、以下のような高級ホテルでインターンができるチャンスがございます！



THE RITZ-CARLTON®



- [タイ・プーケットの五つ星ホテルにてフロントスタッフ](#)
- [タイ五つ星ホテルでフード&ビバレッジスタッフ](#)
- [タイの5つ星ホテルにてハウスキーピング](#)

※求人例は、3か月以上参加必須の有給プログラム向けの内容ですが、業務内容や派遣先の情報は、本プログラム参加者にも参考にしていただけます。

業務内容

フロント

● ゲストのお迎えや交流 ● チェックインやチェックアウトの業務 ● 部屋の割り当てや事務作業 ● 支払いの対応 ● レストランや近隣交通手段、観光の案内等コンシェルジュ業務 ● ゲストからのリクエストや質問への対応 ● ホテルの料金、パッケージの種類、部屋の種類、割引キャンペーン等の情報の把握 ● ゲストの滞在をより良いものにするために各部署との連携 ● クレーム等の対応 ● その他フロントに関する業務

フード&ビバレッジ

● ゲストのお迎え ● レストランやメニューに関する質問への受け答え ● 注文を取る ● 食事の提供（レストラン内やルームサービス等） ● レストランや仕事場の清掃 ● テーブルセッティング等の事前準備 ● カクテル等の作成 ● 在庫管理 ● 食器やバーで使用するグラス等の掃除

ハウスキーピング

● お部屋や共有場所の清掃 ● スケジュールや求められるレベルに合わせた部屋の確認 ● ホテルの一員としてゲストとの交流 ● クレームへの対応 ● ホテルの一員として、身だしなみや安全に注意をして業務を全うする

滞在先

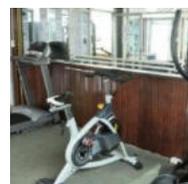
部屋タイプ：2人～4人シェア

設備①：電気・エアコン・水道、インターネット利用可能

設備②：ベッドルーム、リビング共同エリア・キッチン・冷蔵庫・トイレ・お風呂・WiFi・ジム

食事：勤務日無償提供 ※受け入れ先ホテルが負担

注意点：部屋タイプや設備、写真は一例です。配属のホテルによって滞在先によって異なります。光熱費やインターネットは一部自己負担となる場合もございます。



タイのご紹介



タイにとって観光産業は基幹産業の一つであり、豊富な観光資源を活かし、堅調に観光客数、観光収入を増加させてきました。熱帯のビーチ、豪華な王宮、古代の遺跡、そして仏像が飾られた華麗な寺院などの観光名所が世界中の旅行者を魅了しています。

タイではなんと国内総生産（GDP）の20.3%が観光産業からの収益によるものです。タイを訪れる海外観光客の数は、日本を訪れる海外観光客の数を上回り（2021年の調査）、タイが日本を超える観光立国であることをわかりただけかと思えます。今後もさらに成長していくと予想されるタイの観光業界ですので、国内のホテルやリゾートでは、人材の需要が急速に増加しております。

タイの主要な話し言葉はタイ語です。しかし、英語は第二言語として広く話されておりますし、またホテルの利用者はほとんどが外国人ですので、インターン先の言語環境は英語となります。活動を通して英語力も伸ばして頂けることでしょうか！日系企業の進出数は中国、アメリカに次いで第3位です。日本からみても注目のエリアであることは間違いありません。

ファクトシート

気候：バンコク年間を通じて暑い気候が続き、一年を通して寒暖差はほとんどなく、温暖な気候が好きな方にお勧めです。

服装は日本の真夏の服装で問題ありません。

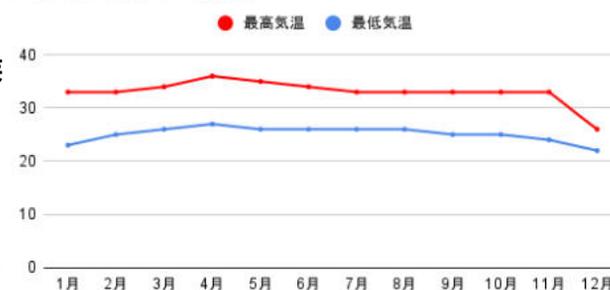
タイの気候は**暑季**（3～5月頃）

雨季（6～10月頃）**乾季**（11～2月頃）の3つに分かれています。雨季は突発的で短時間で終わる雨（スコール）がありますが、長くは続きません。

ベストシーズン：タイ観光のベストシーズンは、**乾季**と重なる**10月～4月**です。ホテルにとってもこの時期が**繁忙期**となります。反対に、**雨季**である**6月～10月**はホテルや観光業にとって**閑散期**となっています。

人気観光地：ワット・プラケオ（エメラルド寺院）、ワット・アルン（暁の寺）、アユタヤ世界遺産、サムイ島、パタヤビーチ

バンコク年間平均気温



タイ生活情報

ホテル情報：

従業員の国籍は？：タイ人50%&その他50%(中国、ロシア、インドネシア、他アジア系)

ゲストの国籍は？：中国人の方が多め！また、アジア圏やヨーロッパ、ロシアも

使用言語は？：英語でOK！タイ語を使用できなくても問題ありません。

日本人スタッフの需要は？：日本人観光客が多いため、特にオペレーション担当（フロント等）は日本人を積極的に採用しています。

生活環境：

- 観光立国であるタイは観光客や外国人が多く、外国人に優しい国
- 英語表記もあり、タイ語を使用できなくても日常生活を送ることができる
- 高島屋、日本の雑貨屋、日本食品を取り扱いスーパーマーケット等があり日本人が生活しやすい
- バンコクはスカイトレインやサブウェイ、バスが主流。利便性が高い！
- プーケットはGrab（配車アプリ）を使用する移動が便利
- 日中であれば一人で出歩ける安全な環境！とくにホテル周辺や滞在先周辺は安全

その他派遣国のご紹介



香港

香港では広東語と英語が広く使用されており、公用語として中国語（広東語）と英語が定められています。人口約740万人を抱えるアジア有数の国際都市で、多くの外国人が生活する多文化社会です。世界的な金融・貿易・観光の拠点として知られ、外資系企業や大手ホテルブランドが集積しています。歴史的に西洋と中華文化が融合してきた背景から、街中にはダイナミックで洗練されたビジネス環境が広がっています。特に観光地や高級ホテルでは多国籍な宿泊客と関わる機会が豊富で、グローバルな接客力やスピード感ある業務を身につけることができます。



モルディブ



公用語はディベヒ語ですが、都市部やリゾートでは英語が広く通じます。人口約50万人のうち、約4分の1を外国人が占める多国籍な国です。モルディブは青い海や豊かなサンゴ礁に囲まれた世界有数のラグジュアリーリゾート地として知られています。現地住民が暮らすローカル島と、観光客が滞在するリゾート島に分かれており、ローカル島ではイスラム文化が強く根付いています。一方で、リゾート島は宿泊客の90%以上が外国人で、様々な国から来る方々と交流し、主に富裕層相手のビジネスが学べます。

気候

香港

亜熱帯気候で、年間を通して温暖な気候です。夏は長く、湿度が高く、気温は平均で28℃～32℃程度になります。冬は比較的短く、乾燥しており、気温は約15℃～20℃です。

モルディブ

高温多湿の熱帯性気候で、年間を通して平均気温が26℃～33℃です。気候はモンスーンの影響で、乾季（12月～4月）と雨季（5月～11月）に分かれます。

※アジア圏の繁忙期は、12月～4月頃になります。繁忙期に向けた採用は9月～10月頃に始まります。

インターンシッププログラム参加の流れ

1

カウンセリング実施、英文履歴書の提出

※渡航の1年~6カ月前まで

学歴や年齢、希望。英文履歴書の内容を踏まえ空き状況を確認いたします。

2

参加票&同意書の提出・事前インタビューの実施（無料）

参加票および同意書を提出いただきましたら、インターン手配担当スタッフと英語でオンライン面談を実施します。面談の結果を踏まえ、プレースメント条件（参加時期・ポジション等）が決まります。

3

お申込金のお支払い ※55,000円のお支払い *プログラム料金の一部金

面談を経て参加を決定いただきましたら、お申込金を期日までにお支払いくださいませ。

※お申込金のキャンセル・返金には、一切応じられません。

4

専用履歴書・ビデオレターの作成、プレースメントの開始

ホテル手配用の履歴書を作成（フォーマットあり）。ビデオレターの作成は任意。専用履歴書が完成しましたら、プレースメントを開始します。タイでは渡航日が一年後までであればプレースメントができます。プレースメントの期限は開始から1年です。

5

企業との面接実施

面接はオンラインで行われます。ホテルワーカーに相応しい身だしなみと態度で臨みましょう。参加者のメールアドレスに直接面接実施依頼に関する連絡が入ります。プレースメント開始後は、頻繁に受信ボックスを確認してください。

6

受入企業の決定 ※プログラム費用残金のお支払い

面接に無事合格できましたら、受入が確定します。各種書類に署名や記入をしていただいたうえで、ビザの申請を開始します。ビザ申請にかかる期間は2~3カ月程度です。※タイは1カ月程度

7

ビザ取得後、航空券の購入・海外旅行保険の加入

ビザ取得後、ホテルに航空券の日程を指定していただき、航空券を購入します。弊社が紹介している旅行代理店をご利用いただくと特典がありますのでぜひ担当スタッフにご確認ください。ホテルの承認が下りるまで正式なインターン開始日や渡航日は決定しませんのでご注意ください。

8

出発準備

渡航前にオリエンテーションを実施いたします。弊社スタッフとの渡航前オリエンテーションに加え、ホテルインターン手配提携先のスタッフとのオリエンテーションも実施いたします。

9

現地到着

到着後、インターン開始

ホテルインターンシッププログラム料金

プログラム料金

300,000円

プログラム料金に含まれるもの

カウンセリング、プログラム登録費、履歴書添削、各種事務手続き、書類選考手配、企業紹介、企業インタビューアレンジ、企業情報提供、受入確認書取寄せ、通信・郵送費、現地生活情報提供、出発前オリエンテーション、現地滞在費、ビザ申請費用、海外送金手数料、留学生危機管理サービス、消費税

プログラム概算費用

US\$1 = 153円換算

	4週間	8週間
プログラム費用	300,000円	300,000円
海外留学生保険料 (目安)	16,800円	41,270円
片道航空券 (目安)	50,000円	50,000円
ビザ申請費用(目安)	10,000円	10,000円
①渡航までにかかる費用合計	376,800円	401,270円
滞在費	不要	不要
現地生活費 ※勤務日の食費は基本不要	40,000円	80,000円
実際にかかる費用 (① + 現地生活費)	416,800円	481,270円
	上記はタイバンコクでホテルが滞在先を無償提供できる場合の概算です。予算50万円以下で参加ができます！滞在先の無償提供や食事つき待遇が良いため、お得に海外インターンシップが実現します！	

株式会社キャリアエクスチェンジ

〒100-6611 東京都千代田区丸の内1-9-2

グラントウキョウサウスタワー11階

URL: www.career-ex.com E-mail: info@career-ex.com



注意事項

滞在先に関して

ホテルが滞在先を所有していない場合には、現地のアパートメントに滞在いただきます。その場合、通常はホテルが費用の一部を負担いたします（目安：タイで160USD程度 ※タイのアパートメントやコンドミニアムは月160~320USD程度のスタジオタイプが一般的）。アパートメントは渡航までに決定できるよう、オプションのご紹介や契約までのお手続きはサポートしております。

なお、アパートメント滞在は通常6か月以上の契約が多く、短期滞在の場合は、返金不可のデポジットや、デポジット不要の代わりに月当たりの料金が高めに設定されているケースがございますので、その点ご了承ください。おおよその目安ですが、デポジットなしで月当たり300~400USD程度に設定されるケースもあるかと思えます。それでも北米やヨーロッパの滞在費用と比較すると、また日本と比較しても相当お安い家賃で滞在が可能です。

ビザ費用の負担に関して

国によっては、インターン生にご負担いただく費用もございます。一例として、タイは日本国内でEducation Visaを申請するため、申請日およそ一万円程度は自己負担分になります。なお、タイの場合はタイ国内で付与するワークパーミットはホテル側が負担いたします。